

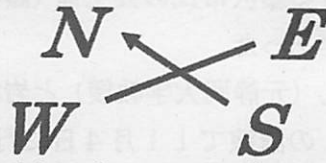
藤沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット

2013年12月6日

第235号



主 環境フェア 2013
な 地震と津波被害を防ぐには
記 チェルノブイリの27年後
事 放射能測定値 ・原発は国家機密事項

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

子や孫に残すべきものは何か！！

—地球温暖化防止か 秘密保護法か—

11月11日からワルシャワで開かれていた COP19 (国連気候変動枠組み条約第19回締約国会議)は23日夜、2020年以降の温室効果ガス削減の新たな国際的枠組みについて、各国が削減目標を提出する時期(可能な国には15年3月まで)などを盛り込んだ合意文書を全会一致で採択し、閉幕した。温室効果ガスが原因と考えられる自然災害による長期的な「損失と被害」に対応するため「ワルシャワ国際メカニズム」機構の創設が確認された。

しかし、先進国と途上国の間で最大の論点となった支援資金の問題で、「緑の気候基金」が設立され、20年以降、先進国は温暖化対策として1000億ドルの支援を行うことが確認されたけれども金庫の中は空っぽと言われている。さらに、会議全体を通じて、温室効果ガス排出削減の議論を消極的なものにしたのは、安倍政権の05年比3.8%減(1990年比で3.1%増)の目標値の発表である。目標値の「値引き」レースを引く張る役割を果たし、EUを初め世界中から批判を浴びた。

一方、11月23日に「ふじさわ環境フェア」の会場で藤沢エコネットは「地球温暖化問題について」アンケートを行った。その中で、石原環境大臣がCOP19で日本の目標を「野心的」と強弁し、国際的な批判を浴びたことについて、「知っている」人は55%で、「知らなかった」は45%。「評価できる」0%、「評価できない」75%、わからない20%、無回答5%であった。

私たちがめざすべき「これからのエネルギーの方向」については(この項目は昨年も設定)、(a)自然エネルギー(再生可能エネルギー)が90%、(b)原発依存は0% (a)と(b)の両方の努力が5%、(c)その他10%。

私たちはCOP19や原発事故の実態、再生可能エネルギーのことなど十分に知ることができているかは、十分5%、思えばできる30%、十分とはいえない65%でした。

最近、原発事故の実態・原因究明やTPPなど私たちには知らされないことが多い。今こそ、国民の知る権利に応じて情報公開が求められている。にもかかわらず、現在、「違憲状態」、「違憲無効」の国会で、「特定秘密保護法案」が決められようとしている。こんなことがまかり通る世の中を子や孫に残すことはできない。安倍首相は自ら参加したG8で再確認した気候変動に対処するとの幅広い政治公約に背いている。小泉元首相でさえ、「即時、原発ゼロを」訴えている。原発に頼らない温暖化防止対策の確立こそ子や孫に残したい(宮地俊作)。



引地川河口に集う コリカモメ

地震と津波災害を防ぐには

湘南のなぎさを守る藤沢市民の会主催（藤沢エコネット協賛）の講演があった。

講師は林弘文さん（元静岡大学教授）と岩渕孝さん（元秋田大学教授）の講演で11月4日に行われた。林さんは、地震と津波のメカニズムを分かりやすく説き、津波のエネルギーが及ぼしたスマトラ沖地震や3.11東日本大震災の津波の高さを考察して話され、各種の論文や著書を紹介していただいた。

岩渕さんは講演に先立ち藤沢に着いてしたことは江の島から海岸や道路、地上の高さなどを調べてなどを見てまわったことを述べた。藤沢は片瀬山があるので逃げ場はあるとのことだった。

「3.11」の津波災害を振り返ると、超巨大地震であり犠牲者の大部分は津波死であった。そして、津波災害を防ぎ減らした地域があった。過去の例から高台に逃れる。防波堤や水門を築くなどの対策をとることにより犠牲者を少なくすることができる。

例では岩手県洋野町は高さ12mの強固な防潮堤が1980年代に建設され1人の死者や負傷者を出さなかった。千葉県九十九里町は5～6mの津波が押し寄せたが海浜には4mの海岸堤防があり、その内陸側には6.2mの土堤があったため被害は少なく、また河口に水門が設置されていたところは津波の遡上が阻止されていた。

過去には869年と1896年に同規模の津波があったが、宮城県や福島県は津波を予測していなかった。石巻市の大川小学校の例は避難計画や避難場所に問題あり全校7割の生徒が犠牲になった。

よって「津波は天災ではなく人災である」「打つ手を打てば津波は防げる」と話された。

藤沢市の場合、「早期避難の体制作り」「中期的には環境保全型海岸保全設備の建設」が求められるが「自己責任の問題」ではなく「地域社会の問題であり、市政の課題である」とのべた。宮脇昭教授（横浜国大名誉教授）の「命を守る森の防潮堤」つまり、緑の防潮堤を提唱していることに触れた。満席の会場からは質問も多く出されこの講演会の関心の高さがうかがえた。（日比遥）



チェルノブイリの27年後

吉田由布子さんが事務局長をしていらっしゃるチェルノブイリ事故被害調査・救援女性ネットワークは、原発事故の後、1990年に綿貫礼子さんが現地を訪れ、ロシア、ベラルーシ、ウクライナの産婦人科医、小児科医、遺伝学者、病気の子どもの母親たちと交流の中から生まれた。

医薬品を送る活動と同時に、「放射能汚染によって子どもたちに何が起きているか、これから何が起ころうとしているか」という女性の視点で調査をする。そこで見えてきたものは、水銀汚染やダイオキシンなど化学的環境汚染と重なるものだった。すなわち、低線量放射線の破壊的な影響。

従来は、放射線を受けて傷ついた細胞は修復されて正常な細胞となるか、あるいは損なわれて突然変異を起こし癌になる、と考えられてきたが、しかし、放射線が当たっても正常な細胞に修復されたと思われたものが、何代か経た後に突然変異を起こすことがある。ゲノムの不安定性による「遅発突然変異」である。

もう一つは「バイスタンダー効果」。放射線を当てた細胞（組織）から離れた細胞（組織）に障害が生じる。例えば肺の上の方に放射線を当てたら下の方に異変が生じることがある。

女性ネットの調査・研究は、放射線による遺伝子損傷ストレスは生命営為のさまざまな過程に大きな影響を及ぼすこと、受精時（胎内）あるいは乳幼児期に起こる遺伝子の乱れが成長後の健康（疾病リスク）に決定的な影響を与えることを明らかにしてきた。

この講演は、放射能が人間の尊厳を冒すものであり、生命の精妙な営みへの侮蔑であることを明らかにするものでもあったと思う。

私たちは、夙に1987年に『廃炉に向けて 女性にとって原発とは何か』を世に問うた綿貫礼子さんや浮田久子さんたちの誠実を生かしていかなければならない。

良い講演を企画してくださってありがとうございました。動画が公開されています。

http://www.youtube.com/watch?v=JHQfK7Ph_7w

福島の子どもたちとともに・西湘の会

小宮市郎

ふじさわ

環境フェア開催

11月23日に明治公民館で、「自然ある未来へ！藤沢 ECO³（エコエコ）まつり」のタイトルで開催された第18回ふじさわ環境フェアは、久しぶりに晴天に恵まれ43団体の出展参加があり、1000名を超える参加者で1日賑わいました。

健康プラザ展示会場は広く、こねこね石鹸作りやソーラーカー工作体験コーナーもあり、市民団体、大学、企業、行政の様々な展示がありました。また、ミニ環境クイズ王決定戦やスタンプラリーの抽選会など親子で一日楽しく環境学習し、景品をゲットする姿が見られました。

土打公園会場ではステージでキッズダンスやじゃんけん大会、団体PRなどがおこなわれ、周りには藤沢炒麺（チャーめん）や豚汁、人気のインド料理、また包丁研ぎやトイレットペーパーつかみ取りコーナーなどが並んでにぎわいました。

本館では新エネルギー学習会や食べ物実験がおこなわれ、映画「皇帝ペンギン」が上映されました。

藤沢エコネットは、藤沢の空気を考える会で調査している大気汚染マップを展示しました。またごみ問題をテーマに、生ごみ堆肥化を長年自宅で実施し、成功させている小林さんの堆肥のつくり方紹介を展示し、匂いがほとんどしない、堆肥を配りました。



課・政処課長が、市民と共同で進める新エネルギーへの取り組みを紹介しました。宝塚市は東日本大震災による福島原発事故後、電力会社や国へ原発に依存しない社会実現への要望を行い、新エネルギー推進課を設置、近隣の市長にも呼びかけました。藤沢市で行われているような補助金政策ではなく、飯田哲也のすすめる、地域コミュニティパワーで自然エネルギー推進を行っています。ISEP（環境エネルギー政策研究所 所長飯田哲也）と委託契約をし、セミナーやワークショップを実施、のべ600人以上が参加して、市民団体・NPO 法人新エネルギーをすすめる宝塚の会が発足しました。NPO と市が太陽光パネルを敷くなど一緒に発電所づくりをおこない、NPO が資金を集め、2013年1月市民発電所が稼働しました。10月現在1号機は11KW、2号機は47KW発電しているとの事です。（青柳節子）



エコネット展示コーナーにて

藤沢市放射能測定器運営協議会主催の学習会「街をてらす市民と行政の新エネルギー事業～宝塚市の取り組み～」では宝塚市新エネルギー推進（藤沢エコネットニュース235号）

放射能測定値

紅葉の秋・落ち葉の周りの放射線量

●11月21日 落ち葉の上5cmで測定しました。

大庭城址公園	側溝の落ち葉の上	0.086 μ Sv
大庭舟地藏公園	落ち葉の上	0.09 μ Sv
桐ヶ谷公園	落ち葉の上	0.040 μ Sv
桐ヶ谷公園隣り駐車場	イチョウ落ち葉の上	0.048 μ Sv
湘南台公園	桜の落ち葉の上	0.040 μ Sv
湘南台公園	側溝の落ち葉の上	0.073 μ Sv

やはり側溝近くは放射線量が高いです。

原子力発電所は国家秘密事項

The New York Timesが「自由主義とは言えない日本の秘密法案」と題された社説の中で、報道者としての懸念と警告を発しているようです。ドイツでは、日本の秘密保護法案に関して、環境保護団体のひとつであるミュンヘン環境研究所が「日本の秘密保護法案：日本は原子力発電所を国家秘密にしたい」と題してニュースレターを送付してきました。フクシマ第一原発現場では、4号機プールからの核燃料棒の取り出し作業が始まっています。

大変にクリティカルな作業であり、何らかの間違いが起こればチェルノブイリ核事故スケールの大惨事が起こり、状況を誰も制御することができなくなり、これは日本だけでなくグローバル・スケールの惨事になる可能性が大いに含まれています。下のリンクでオーストラリアのABCニュースが4号機プールの危険性について語っています。

秘密保護法案が成立すれば、たとえ福島原発現場で制御不可能な核大災害が起こったとしても誰も知る由がなくなってしまうことになります。

(和訳：グローガー理恵 中略) 日本政府は原発の安全を国家秘密事項にする秘密保護法案の制定を目論んでいる。

この法が、どのような領域分野に関わってくるのかを詳述した明細はまだ存在していない。全く同様に、どんなものが国家秘密として解釈されるのか、それを監査することを予め考慮に入れているようなことも殆どない。従ってこれによって自由裁量(恣意)の扉と門が開かれたことになる。そして内部告発者への抑止として、法律違反であり10年までの懲役が処されるということになるのである。

やはり日本政府は、何よりも原発施設における混乱や安全性の欠陥、弊害を国民から隠蔽しておきたいのである。これは、原発運営者の東電がすでに長年にもわたり、実践してきた方略である。

この新しい秘密保護法によって、日本市民の情報へのアクセス権利が、ひとつの民主的政権によって取り消されてしまうことになるのである。

ECONET INFORMATION

「湘南台市民活動プラザ」

湘南台市民センターの2階にオープンしました
印刷やミーティングにご利用を！

開所は 水～土曜日の 9:00-17:00(年末年始を除く)
現在の推進センターと同様に登録して利用できます

TEL. FAX 0466-45-0111

NPOのためのクリスマス交流会

12月15日(日) 15:30～

藤沢市市民活動推進センターにて 500円

申し込み 0466-54-4510

チラシ大賞発表 NPO四方山話ほか



これですっきり！太陽光発電と

これを実現するスマートグリッド

日時 2014年1月11日(土) 14:00～15:30

会場 横浜市立大学金沢八景キャンパス

講師 高木茂行氏(工学博士)、

受講料 1,500円 ※高校生無料 ※事前申込制

申込み 電話、FAX、メール、郵送で

■主催 横浜市立大学地域貢献センター

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2

電話：045-787-8930 FAX：045-701-4338

メール：exten@yokohama-cu.ac.jp

藤沢エコネットから

会費・購読料の納入は

ゆうちょ銀行(9900) 店番(029)

当座預金 0046501 ｼﾞｬﾝｸﾞﾙEｺﾈｯﾄ

(従来用紙の方法も利用できます)

会員募集＝年会費・購読料→3000円

事務局会議 12月18日(水) 14:00～

推進センターにて

《編集後記》今年も残り少なくなった。大気汚染のPM2.5や煙霧という言葉もあった。原発事故以来、苦しい政治が続く、放射能汚染水が流出し続け、TPP参加交渉、消費税増税、ブラック企業という言葉も生まれた。そして今、特定秘密法案と立て続けに国民の意見を無視した改悪が安倍内閣によって続けられている。富士山の世界遺産、東京オリンピックが決まったことぐらいがまあ良かったことか。(H)